

授業科目 福祉用具概論

【担当教員名】 東江 由起夫、藤枝 温子、蛭名 真知子、 加島 守		対象学年	1	対象学科	義肢
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎		○	○		
【一般目標：GI0】 福祉用具を扱う専門職に必要な基礎知識を身につけるために、日常生活動作に理解を深め、福祉用具を必要とする対象者および福祉用具の定義、分類と用途、福祉用具に関わる制度、専門職の役割について学ぶ。					
【行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 本科目の概要と成績に関わる評価項目について理解している。 2. 福祉用具の定義、分類、種類について説明できる。 3. 福祉用具を必要とする対象者について知っている。 4. 対象者の日常生活動作について知っている。 5. 福祉用具に関わる制度が説明できる。 6. 福祉用具に関わる専門職の役割について説明できる。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ガイダンス、学科めざす福祉用具専門職像			1	講義
2	福祉用具概論（定義、分類）			2	講義
3	福祉用具を必要とする対象者1（高齢者）			3	講義
3	福祉用具を必要とする対象者2（障害者）			3	講義
4	生活における基本動作・ADLの理解1			4	講義
6	生活における基本動作・ADLの理解2			4	講義
7	福祉用具の種類1（起居関連用具、食事・更衣・整容の活動と用具）			2-4	講義
8	福祉用具の種類2（移乗関連用具、移動関連用具）			2-4	講義
9	福祉用具の種類3（床ずれ関連用具・入浴関連用具・排泄関連用具）			2-4	講義
10	福祉用具の種類4（社会参加関連用具、コミュニケーション関連用具）			2-4	講義
11	福祉用具の種類5（住宅改造）			2-4	講義
12	福祉用具供給に関わる法律関係			5, 6	
13	介護保険制度と福祉用具			5, 6	講義
14	福祉用具供給業務			5, 6	講義
15	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		福祉用具プランナーテキスト 第6版		公益財団法人 テクノ エイド協会	2013・8,400円
参考書		福祉用具専門相談員研修用テキスト 六訂	(株)シルバー	中央法規	2012・3,500円+税
その他の資料			サービス振興会		
【評価方法】 最終筆記試験70%、小テスト20%、レポート10%とする。 ※原則、授業の1/3を欠席した者は、科目評価資格を失うものとする。また欠席1回につき-3点、遅刻1回につき-1点、遅刻2回につき-3点を、最終評価から減点する。			【履修上の留意点】 本科目は、福祉用具プランナー資格試験受験（4年次）に関わる必須科目である。		